



11月は「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」です！！

「抗菌薬」という言葉を聞いたことがありますか？昔は「抗生物質」とも呼ばれていました。これは、主に細菌に効く薬です。抗菌薬は、不適切な使い方をする、将来効果がなくなる(耐性ができる)ことがあります。この耐性菌を生まないように、政府は「あなたのリスク、ほどよいクスリ」を合言葉に、適切な抗菌薬の使用を呼びかけています。

耐性菌が増えると、どうなるの？

従来の抗菌薬が効かない「耐性菌」が増えてしまうと、細菌感染症の予防や治療が困難となる場合があります。これまでは、感染・発症しても、抗菌薬により軽症で回復できた感染症が、治療が困難になることで重症化しやすくなり、死亡する可能性も高まります。

薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐには？



抗菌薬は、医師や薬剤師の指示通りに使しましょう。

- ・勝手に途中でやめない！
- ・勝手に量や回数を変更しない！

とは言っても…

こどもが嫌がって飲まないのよね…

薬を飲み続けると、抵抗力が弱くなるのでは？

悩まれている保護者の方も多いです！



「飲むのを嫌がる場合は…」

実は、苦みのある抗菌薬もあります。ジュースに混ぜると逆に苦みが増すものもあります。内服のゼリーでも、苦みが残る場合があります。薬によって相性がいい飲み合わせが異なるので、処方してくれる薬剤師さんに飲ませ方を教えてもらいましょう。薬の前に、氷やアイスクリームなどの冷たいものを食べておくと、口の中の感覚が鈍くなって苦みを感じにくくなるので、よかったら試してみてください。

「飲み続けると抵抗力が弱くなる!？」

薬で体の抵抗力が弱くなるということはありませんので、抗菌薬は指示通り飲むようにしましょう。しかし、抗菌薬以外であれば、「症状が治まったら飲まなくてもいい薬」もあります。(鼻水や咳止めの薬など。)薬をやめるタイミングは、医師に確認してみましょう。

☆ ご予約・お問い合わせ ☆
いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」
住所: 兵庫県加古郡稲美町国安1256番地
TEL: 079-490-2064 (専用電話)
FAX: 079-490-6682



編集: 篠田

参照: 政府広報オンライン